

歴史まち歩き

33 前田利家のふるさと、荒子 【あおなみ線荒子駅▶地下鉄高畑駅】

前田利家のふるさと、円空仏と古刹を訪ねて

前田利家の生誕地、荒子。駅前の利家初陣像に迎えられ、荒子観音寺へ向かいます。多宝塔や円空が彫った約1250体もの円空仏を見学し、利家が育った荒子城跡(富士権現天満宮)へ。利家とまつが生きた時代に思いをはせながら歩きましょう。

① あおなみ線 荒子駅前の利家とまつの像

駅前のロータリーに荒子生まれの戦国武将「前田利家」の初陣の騎馬像とそれを見送るようにたたずむ「まつ」の像が建てられています。

② 荒子駅前にある梅の木と記念石碑

利家とまつの像が建てられたのを記念して、金沢兼六園の成興閣の梅の木が贈られ、植樹されました。金沢市民と荒子とのつながりにもなっています。

③ 荒子観音多宝塔と仁王門

荒子観音(浄海山円龍院観音寺)は尾張四観音の一つで、寺号は観音寺といい天台宗の寺院。また、円空が当寺を数回訪れ、全国に木彫りの「円空仏」とも呼ばれる独特の作風を持った仏像1200余体と、山門の仁王像を残したことで有名です。

荒子観音は、天平元年(729年)の創建と伝えられ、加賀藩主前田利家が天正4年(1576年)に修造されました。多宝塔は天文5年(1536年)に再建され、市内最古の木造建築物で国の重要文化財に指定されています。円空仏は、毎月第2土曜日 13:00~16:00の間のみ公開(拝観料500円)

荒子観音の本堂にあった天井絵

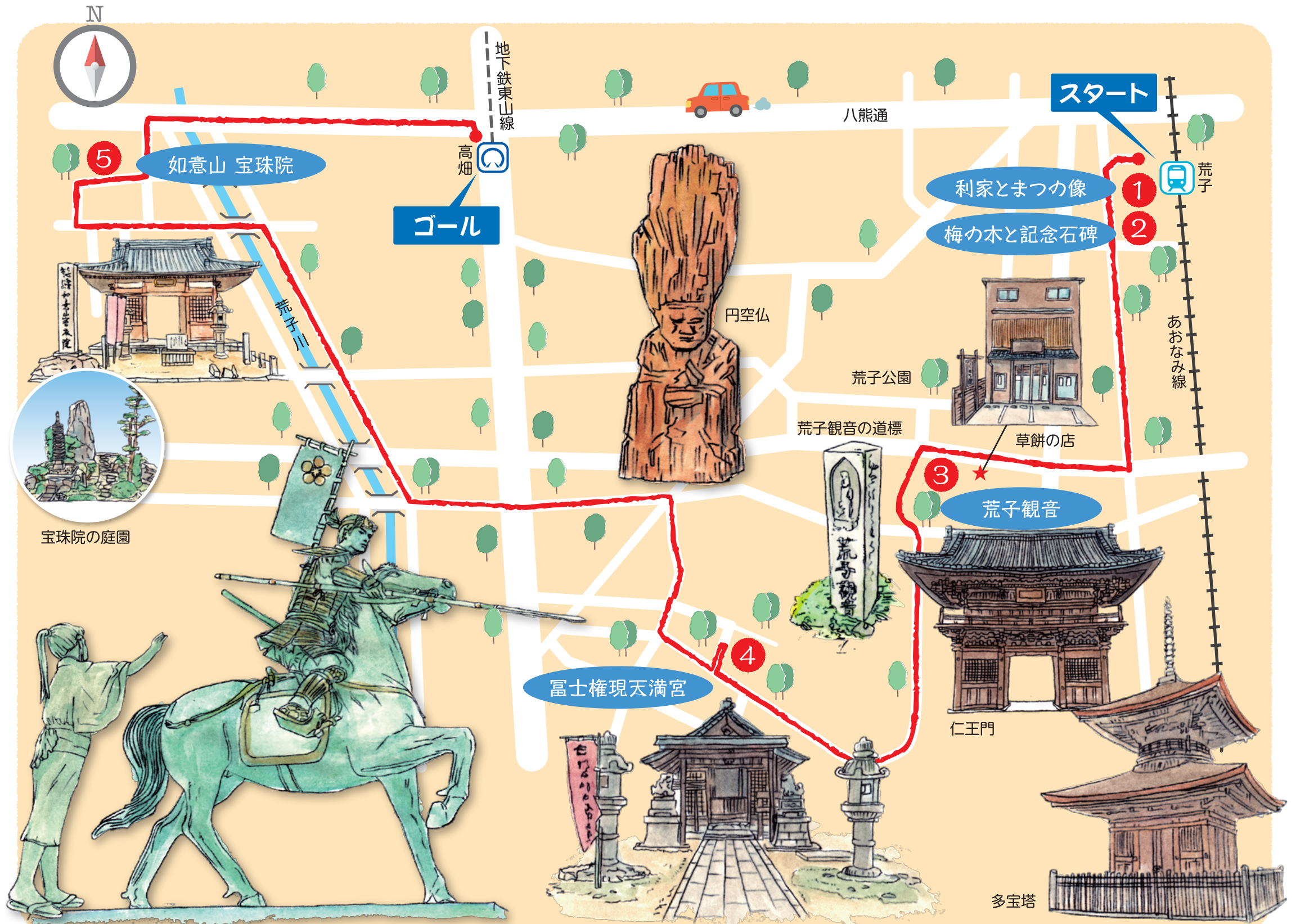
本堂は平成6年(1994年)に火事で焼失、3年後に再建されました。江戸明暦の時代に描かれた天井絵は、本堂横の建物の天井に移されて展示されています。

④ 富士権現天満宮(荒子城跡)

前田利家が居住した荒子城跡に建立。荒子城は利家の父利昌によって天文年間に築城され、堀に囲まれたおおよそ東西68メートル南北50メートルの小規模な館のような城で、利家も永禄12年(1569年)荒子城主となり、城の鎮守神として富士権現を勧請しました。祭神は木花開耶姫命と前田家が祖先としている菅原道真です。

⑤ 如意山 宝珠院(ほうしゅいん)

真言宗智山派の寺。名古屋21大師11番札所、名古屋三弘法の一つです。巨石を配した庭は、見ごたえがあります。また境内には表面が亀の甲羅のような模様の亀甲竹が茂っています。



荒子駅前の利家とまつの像